

調査視察等の報告書	
年 月 日	
日進市議会議長 永野雅則 様	
議員氏名 大橋ゆうすけ 印	
実施年月日 28年 7月20日	行き先 愛知県春日井市
目 的 「手のひら認証登録の推奨に関する協定書」の内容と 取り組みについて調査を行うため。	
報告事項 ※報告事項については、別紙参照	
※別添資料 有	

調査視察地等の報告事項

「手のひら認証登録の推奨に関する協定」の概要

平成 25 年 3 月 4 日に春日井市と全国で初めて ATM の手のひら認証を導入した大垣共立銀行の間で、手のひら認証登録の推奨に関する協定を締結しています。

手のひら認証は、通帳やキャッシュカードがなくても ATM を利用できるサービスで、災害時に大変有効であることから、防災対策を一層推進するために利用を推奨する考となっています。

また、大垣共立銀行からは、平成 26 年 3 月 31 日までに市内の店舗において手のひら認証登録を行った人数等に対し 100 円を乗じた額を、防災対策事業にあてることを目的に寄附も行われています。

協定書を交わすまでの経緯について

春日井市の市制 70 周年記念事業としての取組みでもあり、「手のひら認証システム」が災害時に有用なシステムであるため、当該システムを広く推奨し、市民の防災に対する意識を高める事を目的とし実施されました。

協定書におけるそれぞれの役割について

- | | |
|--------|---|
| 共通 | <ul style="list-style-type: none">・ 防災対策事業を推進する。・ 当該事業を幅広く市民に周知する。 |
| 春日井市 | <ul style="list-style-type: none">・ 寄付金を防災対策事業として支出する。・ 本市主催のイベントにおいて、移動店舗の設置場所を確保する。 |
| 大垣共立銀行 | <ul style="list-style-type: none">・ 災害時には移動店舗を優先的に本市に設置する。・ 防災対策事業に充てる事を目的に寄付をする。・ 本市主催のイベントにおいて、移動店舗を設置する。 |

所感

視察で訪問するまでの期間（約 1 年間）で、春日井市内の店舗などで 1 万 3 千人以上の方が「手のひら認証」の登録をされており、利便性だけでなく市民の防災に対する意識の高まりが数字としても明確に表れた結果であり、今後さらに拡大するものであると感じました。これまでに、日進市内各金融機関への訪問調査を実施し、今後の方針等の確認を行いました。現状では「手のひら認証システム」を導入している、また、する予定がある金融機関は、大垣共立銀行しかありませんでした。

災害発生時に、カードや印鑑を持って逃げている余裕はありません。市民の生活を守るため、日進市においても「手のひら認証」で現金の引き出し等が可能な ATM の誘致を推進し、いつ起こるかかわからない災害に備える必要があると改めて感じる事ができました。

政務活動事業実績報告書の概要及び成果等

「手のひら認証登録の推奨に関する協定」の概要

平成 25 年 3 月 4 日に春日井市と全国で初めて ATM の手のひら認証を導入した大垣共立銀行の間で、手のひら認証登録の推奨に関する協定を締結しています。

手のひら認証は、通帳やキャッシュカードがなくても ATM を利用できるサービスで、災害時に大変有効であることから、防災対策を一層推進するために利用を推奨する考となっています。

また、大垣共立銀行からは、平成 26 年 3 月 31 日までに市内の店舗において手のひら認証登録を行った人数等に対し 100 円を乗じた額を、防災対策事業にあてることを目的に寄附も行われています。

協定書を交わすまでの経緯について

春日井市の市制 70 周年記念事業としての取組みでもあり、「手のひら認証システム」が災害時に有用なシステムであるため、当該システムを広く推奨し、市民の防災に対する意識を高める事を目的とし実施されました。

協定書におけるそれぞれの役割について

- | | |
|--------|---|
| 共通 | <ul style="list-style-type: none">・ 防災対策事業を推進する。・ 当該事業を幅広く市民に周知する。 |
| 春日井市 | <ul style="list-style-type: none">・ 寄付金を防災対策事業として支出する。・ 本市主催のイベントにおいて、移動店舗の設置場所を確保する。 |
| 大垣共立銀行 | <ul style="list-style-type: none">・ 災害時には移動店舗を優先的に本市に設置する。・ 防災対策事業に充てる事を目的に寄付をする。・ 本市主催のイベントにおいて、移動店舗を設置する。 |

所感

視察で訪問するまでの期間（約 1 年間）で、春日井市内の店舗などで 1 万 3 千人以上の方が「手のひら認証」の登録をされており、利便性だけでなく市民の防災に対する意識の高まりが数字としても明確に表れた結果であり、今後さらに拡大するものであると感じました。これまでに、日進市内各金融機関への訪問調査を実施し、今後の方針等の確認を行いました。現状では「手のひら認証システム」を導入している、また、する予定がある金融機関は、大垣共立銀行しかありませんでした。

災害発生時に、カードや印鑑を持って逃げている余裕はありません。市民の生活を守るため、日進市においても「手のひら認証」で現金の引き出し等が可能な ATM の誘致を推進し、いつ起こるかかわからない災害に備える必要があると改めて感じる事ができました。